

事務事業	15049	図書館子どもまつり事業	担当課 課長	社会教育課 前田 憲一郎	担当係 担当者	町民図書館 安武 里美
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	250 子どもの健全育成を推進する		款	10	教育費
法令根拠条例等		子どもの読書に関する法律	項	5	社会教育費	
			目	6	町民図書館費	
			基本事業			
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H13 年度より開始		□期間限定(複数年)		年度～	年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
図書館を身近に感じ、親しみを持ってもらうことを目的に、図書館ボランティアの協力のもと開催。各ボランティア団体のPRや図書館の利用増につながっていく。 平成13年に「子どもの読書に関する法律」ができてから、4月29日に「こどもとしょかんまつり」を開催している。 内容は、子どもの遊び(集団遊び・伝承遊び)・工作・布絵本展・読書感想画展・スタンプラリー・おりがみ・おはなし会・ブックリサイクル・囲碁教室体験など。	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	
イベントの企画・運営、準備、ボランティアとの打ち合わせ等	
	食糧費 30 千円
	消耗品費 3 千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※簡条書きで記入) ・親子遊び(手遊び・工作) ・囲碁教室 ・体験図書修理 ・ブックリサイクル ・工作教室 ・親子折り紙教室 ・科学あそび ・上映会 ・布の絵本展 ・おはなし会 ・スタンプラリー ・読書感想画展	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値					
			名称	単位	27年度	28年度	29年度	
			ア 開催数	回	1	1	1 (見込)	
			イ				(見込)	
			ウ				(見込)	
							(見込)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 18歳までの子ども、町民、都市圏広域利用者	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値					
			名称	単位	27年度	28年度	29年度	
			ア 18歳までの人口	人	9,556	9,383	9,470 (見込)	
			イ 人口	人	45,593	45,662	45,662 (見込)	
			ウ 都市圏人口	人	2,481,726	2,500,769	2,500,769 (見込)	
							(見込)	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 図書館や読書に関心と親しみをもち、イベント内容の参考本などを読んだりすることによって、生活が豊かになることを知る。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指標数値					
			名称	単位	27年度	28年度	29年度	
			ア としょかんまつり参加者数(述べ人数)	人	目標	1,220	1,220	1,220
					実績	1,065	1,019	
			イ ボランティア数	人	目標	78	78	78
					実績	66	72	
			ウ		目標			
					実績			
			エ		目標			
					実績			
	オ		目標					
			実績					

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	1,130	1,362	1,208	40		
		合計(A)	1,130	1,362	1,208	40	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)	1,097	1,329	1,175			
	正職員人件費[按分](B)	955	1,483	1,863	1,583			
トータルコスト(A)+(B)		2,085	2,845	3,071	1,623	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成3年から、図書館が開館された時期を記念に読書への関心を高めるきっかけになるように開始された。	平成13年度から「こどもの読書活動推進に関する法律」平成14年「文字活字振興法」などの法律が制定されたことにより、「こども読書推進計画」が策定され、こども読書活動支援が大きく前進した。志免町でも平成17年に計画が策定されており、子ども図書館まつりも包括されている。「こども読書の日」への関心を深め、図書館をより身近に感じるために、こども図書館まつりを行なっている。	参加者からは老若問わず、工作・折り紙・布工作等の催しがどれも楽しかったという声を聞く。近年行っている科学遊びは子どもたちに特に好評だった。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	参加者を増やすため催しの内容の充実に向けているが、周知の方法をさらに工夫して参加者数をふやしていきたい。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	参加者を増やすため催しの内容の充実に向けたが、前年度と比べると参加人数が減となった。

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	こどもとしょかんまつりの開催と、それに伴うボランティア団体の活動を広く周知することで、図書館や図書館ボランティアについての理解を高めることに有効である。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	次世代を担う子どもたちが参加できる行事の開催は行政の役割である。平成13年制定の「こども読書にかんする法律」により、4月23日の「こども読書の日」の前後にこどもに関する事業を行うことが推奨されている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	参加者を増やすため催しの内容の充実に向けているが、周知の方法をさらに工夫して参加者数を増やしていきたい。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	普段はあまり図書館を利用することがない子どもたちでも、気軽に図書館の来てその利便性を知る機会が失われる。図書館ボランティア団体が自分たちの活動内容をPRする機会が失われる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	現在ボランティアと協働で開催。(ボランティアに頼るところ大。)図書館担当の工作教室等の材料等は、リサイクル品や職員自宅等からの提供のものでまかなっており、購入物は主にボランティア分であり最小限に抑えているため、削減は難しい。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館や学校・幼稚園等にポスターやチラシを配り、周知を図った。 ・親子で参加できて楽しかったと好評であった。 ・飲食できる休憩室を設置したら好評であった。 ・上映会は、前年度を踏まえ時間設定を考慮し、会場を生涯学習1号館からふれあいセンター健康増進室に変更すると参加人数増となった。
--

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果 参加者を増やすため催しの内容の充実に向けているが、周知の方法をさらに工夫して参加者数をふやしていきたい。
---	--